

新・東中とんぼ通信

発行 横浜市立若葉台東中学校 編集責任 鈴木 徹

イラスト こみね さおり



第26号

夏休み中の「東中農園」について

皆さんは、夏休み前に「わかばクラス」で決めた農園管理の責任を果たしましたか。畑の様子を見れば一目瞭然ですね。ただ無責任に収穫の希望だけで畑を始めたのか、やる以上は責任を持って取り組もうと決心したのか……。夏の暑い中、畑の作業は大変だったことでしょう。除草や水やりなど、作物の面倒を見てくれた人、ありがとうございます。頭が下がります。この文章を読んで「しまった。さぼってしまった。まずいなあ」と思った人は、その気持ちを、ぜひ、行動に移して下さい。後期の農園が充実するように心がけて下さい。各自の責任において、作業を遂行してください。結果は、作物が身をもって示してくれます。



カボチャは雑草にも負けませんが・・・



雑草だらけのイモ畑(格闘してくれた人も居ました)



手入れをしてもらいスイカもうれしそう

農園は強制でも必修でもありません。「わかばタイム学習」の一課題に過ぎないのです。ですから、取り組む姿勢を各クラスで確認し、先生に任せっぱなしの学習にしないようにしましょう。

農園に取り組むためのヒントを記しておきます。よかったら参考にしてください。

ヒント1 目的意識を持って取り組む

- ・11月の収穫祭に向けて耕作する。
- ・わかばクラス単位の行事に利用するために耕作する。
- ・収穫物を利用して加工品を作るために耕作する。

ヒント2 栽培品目についてしっかり研究する

- ・種まきの時期、収穫時期(収穫までに要する日数)
- ・栽培方法(植え付け、間引き、施肥etc)
- ・収量アップのための工夫(保温、日照、水やりetc)

ヒント3 確実な作業分担の実現

- ・各自に責任を持たせ、遂行させるための工夫。
- ・無理のない計画を立てる(行事や委員会、部活、日常生活との兼ね合いも考えよう)

* 農園には、まだ収穫されないままの作物が残っています。無駄にしないよう最後まで大切に!!

新・東中とんぼ通信

発行 横浜市立若葉台東中学校 編集責任 鈴木 徹

イラスト こみね さおり



第26号

夏休み中の「東中農園」について

皆さんは、夏休み前に「わかばクラス」で決めた農園管理の責任を果たしましたか。畑の様子を見れば一目瞭然ですね。ただ無責任に収穫の希望だけで畑を始めたのか、やる以上は責任を持って取り組もうと決心したのか……。夏の暑い中、畑の作業は大変だったことでしょう。除草や水やりなど、作物の面倒を見てくれた人、ありがとうございます。頭が下がります。この文章を読んで「しまった。さぼってしまった。まずいなあ」と思った人は、その気持ちを、ぜひ、行動に移して下さい。後期の農園が充実するように心がけて下さい。各自の責任において、作業を遂行してください。結果は、作物が身をもって示してくれます。



カボチャは雑草にも負けませんが・・・



雑草だらけのイモ畑(格闘してくれた人も居ました)



手入れをしてもらいスイカもうれしそう

農園は強制でも必修でもありません。「わかばタイム学習」の一課題に過ぎないのです。ですから、取り組む姿勢を各クラスで確認し、先生に任せっぱなしの学習にしないようにしましょう。

農園に取り組むためのヒントを記しておきます。よかったら参考にしてください。

ヒント1 目的意識を持って取り組む

- ・11月の収穫祭に向けて耕作する。
- ・わかばクラス単位の行事に利用するために耕作する。
- ・収穫物を利用して加工品を作るために耕作する。

ヒント2 栽培品目についてしっかり研究する

- ・種まきの時期、収穫時期（収穫までに要する日数）
- ・栽培方法（植え付け、間引き、施肥 e t c）
- ・収量アップのための工夫（保温、日照、水やり e t c）

ヒント3 確実な作業分担の実現

- ・各自に責任を持たせ、遂行させるための工夫。
- ・無理のない計画を立てる（行事や委員会、部活、日常生活との兼ね合いも考えよう）

* 農園には、まだ収穫されないままの作物が残っています。無駄にしないよう最後まで大切に!!